

AtermITX80/ITX70 用 i・ナンバー (3 番号) の説明と使い方

2000 年 9 月

【対応機種&ソフト名】

機種名	ソフト名	バージョン
AtermITX80/D	ファームウェア	Ver.1.40 以降
AtermITX80	らくらくユーティリティ (Windows 版)	Ver.1.30 以降
AtermITX70/D	らくらくユーティリティ (Mac 版)	Ver.1.20 以降

- 【著作権者】 日本電気株式会社
【対象ユーザ】 上記の対応機種をご使用のお客様
【転載条件】 転載禁止

もくじ

1. お使いになる前に
2. i・ナンバー (3 番号) について
3. 電話機から設定する
4. らくらくユーティリティで設定する
5. 次の機能を使うときには
 - 5.1 INS ボイスワープ
 - 5.2 モデム・ダイヤルイン
 - 5.3 着信転送
6. AT コマンドで設定する
7. 高機能 S 点ユニットでホームネットワークを使用する場合について

1. お使いになる前に

必要な設定を確認する

i・ナンバー（3 番号）を利用するにあたって、設定を行うために、本装置の「ユーティリティ」の一部であるらくらくウィザードが「利用できる / 利用できない」で最初の設定方法が異なります。

らくらくウィザードが利用できるパソコンでは

らくらくウィザードを実行すると、アナログ通信機器の利用に必要な基本的な設定のほとんどが完了します。

下記の条件に該当する場合は、らくらくウィザードで設定を行ってください。

らくらくウィザードが利用できる条件

- ・ データポートまたは USB ポートにパソコンを接続している
- ・ パソコンで Windows Me/2000/98/95/NT4.0 または Macintosh を利用している

らくらくウィザードが利用できないとき、またはさらに詳細な設定を行いたいときは
パソコン（らくらくユーティリティ）または電話機で設定します。

らくらくウィザードで設定する場合

Windows Me/2000/98/95/NT4.0 をお使いの方

他のプログラムが、データポートを使用している場合は、それらを終了させる。

「スタート」をクリックし、[プログラム] [AtermITX80/ITX70 ユーティリティ]の順にポイント、[AtermITX80/ITX70 らくらくウィザード]をクリックする。

[設定項目の選択と実行]画面が表示されるまで、「次へ」ボタンをクリックして画面を進める。

[アナログポートの設定]ボタンをクリックする。

アナログポートの設定用ウィザードが起動したら、画面の指示に従って設定を行ってください。

Macintosh をお使いの方

他のプログラムが、データポートを使用している場合は、それらを終了させる。

[AtermITX80/ITX70 らくらくウィザード]アイコンをダブルクリックする。

接続ポートを選択し、[OK]ボタンをクリックする。

[アナログポートの設定]ボタンをクリックする。

アナログポートの設定用ウィザードが起動したら、画面の指示に従って設定を行ってください。

2. i・ナンバー（3 番号）について

i・ナンバー（有料）をご契約になると、複数の電話番号を持つことができます。相手の方がかけてきたときに通知される i・ナンバー情報ごとに、着信するポートを特定することができます。

必要なINS ネット64 の契約

i・ナンバー（有料）

本サービスをご利用になるには NTT 東日本 / NTT 西日本との契約が必要になります。

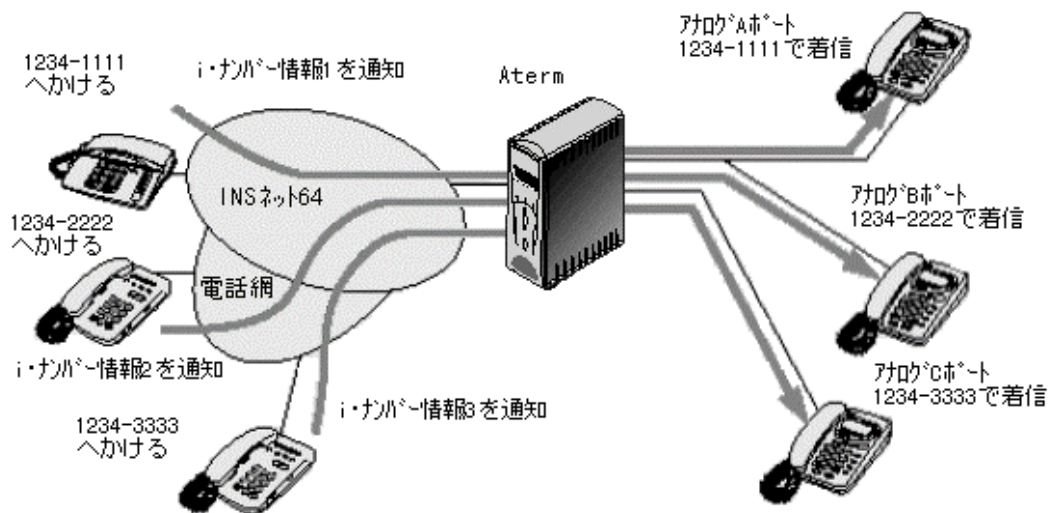
1 つ目の電話番号（契約者回線番号）が i・ナンバー情報 1、2 つ目の電話番号（追加番号）が i・ナンバー情報 2、3 つ目の電話番号（追加番号）が i・ナンバー情報 3 となります。

本装置で必要な設定

i・ナンバーを利用する旨と、相手の方が電話をかけてきたときに通知される i・ナンバー情報ごとに、着信するポートを設定する必要があります。

3 つの電話機で呼び分ける例

1234-1111（契約者回線番号）での着信はアナログ A ポートに、1234-2222（追加番号）での着信はアナログ B ポートに、1234-3333（追加番号）での着信はアナログ C ポートにする場合



回線契約と設定	i・ナンバー情報 1	i・ナンバー情報 2	i・ナンバー情報 3
回線の契約	i・ナンバーを契約する		
	1234-1111（契約者回線番号）が割り当てられる	1234-2222（追加番号）が割り当てられる	1234-3333（追加番号）が割り当てられる
i・ナンバーの設定	「i・ナンバー情報を使用する」を選択する		
電話番号の設定	1234-1111 を設定する	1234-2222 を設定する	1234-3333 を設定する
着信するポートの設定	「A ポート」を選択する	「B ポート」を選択する	「C ポート」を選択する

《お知らせ》

- ・「i・ナンバーを使用する」と設定した場合は、初期値として、契約者回線番号（i・ナンバー情報 1）に電話がかかってくるとアナログ A ポートに着信し、1 つ目の追加番号（i・ナンバー情報 2）に電話がかかってくるとアナログ B, C ポートに着信するようになっています。初期値のままだと、2 つ目の追加番号（i・ナンバー情報 3）に電話がかかっても、アナログポートに着信しません。
- ・相手の方に通知する i・ナンバー（契約者回線番号または追加番号）は、アナログ A ポートから電話をかけた場合は i・ナンバー情報 1 になり、アナログ B, C ポートから電話をかけた場合は i・ナンバー情報 2 になります。
- ・初期値以外の着信 / 発信するポートの設定を希望される場合は、別途設定が必要になります。

3. 電話機から設定する

i・ナンバーを設定する

《着信番号の設定》

受話器を上げる。

【*】【*】【1】【*】を押す。

【5】【*】を押す。

【9】【0】【1】～【9】【0】【3】を押す。

i・ナンバー情報1を設定するときは【9】【0】【1】

i・ナンバー情報2を設定するときは【9】【0】【2】

i・ナンバー情報3を設定するときは【9】【0】【3】

を押してください。

【*】、【電話番号】、【#】の順に押す。

内線指定番号を設定する場合は、【*】【電話番号】

【#】【*】【内線指定番号】【#】を押してください。

から繰り返してi・ナンバー情報1～3のうち利用するものすべてを設定する。

着信番号の設定が終了したら へ進んでください。

《着信ポートの設定》

【1】または【2】または【3】を押す。

(【1】: アナログAポート、【2】: アナログBポート、
【3】: アナログCポート)

【*】【9】【4】【*】を押す。

着信するi・ナンバー情報【1】～【3】を押し、
【#】を押す。

他のアナログポートを設定するときは から繰り返す。

着信ポートの設定が終了したら へ進んでください。

《発信ポートの設定》

【1】または【2】または【3】を押す。

(【1】: アナログAポート、【2】: アナログBポート、
【3】: アナログCポート)

【*】【9】【5】【*】を押す。

通知するi・ナンバー情報【1】～【3】を押し、
【#】を押す。

他のアナログポートを設定するときは から繰り返す。

発信ポートの設定が終了したら へ進んでください。

《i・ナンバーの使用設定》

【4】【*】【7】【6】【*】を押す。

【1】【#】【#】を押し、受話器を戻す。

「i・ナンバーを使用する」のときに着信転送を設定する

《転送元の登録》

受話器を取り上げる。

【*】【*】【1】【*】【4】【*】【4】【0】

(～【4】【2】)【*】を押す。

【4】【0】～【4】【2】を押すと、i・ナンバー情報ごとに1件(合計3件)までの電話番号を登録できます。

転送元のi・ナンバー情報番号を登録する。

i・ナンバー情報1への着信を転送するときは【1】

i・ナンバー情報2への着信を転送するときは【2】

i・ナンバー情報3への着信を転送するときは【3】

を押してください。

【#】を押す。

《転送先の登録》

【4】【*】【3】【0】(～【3】【2】)【*】を

押す。

の で押したのと同じ
ボタンを押す

転送先の電話番号を登録する。

【#】を押す。

《着信転送の種類選択》

・NTT 着信転送を設定するとき

【4】【*】【2】【7】【*】【1】【#】【*】

【トキサービス】【#】【#】を押す。

・疑似着信転送を設定するとき

【4】【*】【2】【7】【*】【2】【#】【#】

を押す。

トキサービスは、下記の中から選択してください。

【0】: なし

【1】: 転送トキのみ有り

【2】: 転送元トキのみ有り

【3】: 両トキとも有り

受話器を戻す。

《お知らせ》

- ・発信ポートの設定を正しく行わないと、相手の方に正しい電話番号が伝わらなかったり、発信者番号通知で設定した内容が有効とならない場合があります。また、INS ネット 64 の各種サービスが利用できない場合もありますので、発信ポートを正しく設定してください。

4. らくらくユーティリティで設定する

らくらくユーティリティを起動する

<Windows Me/2000/98/95/NT4.0 の場合>

1. 本装置の電源を入れる。
2. [スタート]をクリックし、[プログラム]
[AtermITX80/ITX70 ユーティリティ]の順にポイント、[ITX80/ITX70 らくらくユーティリティ]をクリックする。

らくらくユーティリティが起動します。

らくらくユーティリティを終了する

<Windows Me/2000/98/95/NT4.0 の場合>

1. 設定が終了したら、らくらくユーティリティの最初の画面で[閉じる]ボタンをクリックする。
2. [OK]ボタンをクリックする。

らくらくユーティリティが終了します。

<Macintosh の場合>

1. 本装置の電源を入れる。
2. [AtermITX80/ITX70 らくらくユーティリティ]アイコンをダブルクリックする。

らくらくユーティリティが起動します。

<Macintosh の場合>

1. 設定が終了したら、らくらくユーティリティの最初の画面で[閉じる]ボタンをクリックする。
2. [OK]ボタンをクリックする。

らくらくユーティリティが終了します。

i・ナンバーを設定する

1. [設定画面 / 機能]の[番号テーブル]ボタンをクリックする。

[電話番号テーブル]が表示されます。

2. [i・ナンバーを使用する]をクリックする。

i・ナンバーの設定画面になります。

3. 項目を設定する。

[電話番号]

i・ナンバー情報1、 i・ナンバー情報2、 i・ナンバー情報3の電話番号を入力します。

- (ハイフン)は入力しなくてもかまいません。

[内線指定番号]

i・ナンバー情報ごとに0~9の数字を使って4桁の任意の番号を入力します。

アナログ・ダイヤルインを使用するときに設定します。

[着信するポート]

i・ナンバー情報1、 i・ナンバー情報2、 i・ナンバー情報3で呼び出すポートを選択します。

[発信するポート]

各アナログポート(A、B、C)とデータポートから発信したときに通知する電話番号を1つずつ選択します。

[1 ON]をクリックすると全ポートでi・ナンバー情報1の電話番号を通知します。

[2 ON]をクリックすると全ポートでi・ナンバー情報2の電話番号を通知します。

[3 ON]をクリックすると全ポートでi・ナンバー情報3の電話番号を通知します。

4. [OK]ボタンをクリックする。

らくらくユーティリティの起動画面に戻ります。



《お知らせ》

- ・電話番号の設定を正しく行わないと、相手の方に正しい電話番号が伝わらなかったり、発信者番号通知で設定した内容が有効とならない場合があります。また、INS ネット 64 の各種サービスが利用できない場合もありますので、電話番号は正しく設定してください。

着信転送を設定する

1. [設定画面 / 機能] の [アナログポート] ボタンをクリックする。
[アナログポートの設定] が表示されます。
2. [共通設定 (着信)] タブをクリックする。
[共通設定 (着信)] が表示されます。
3. [お出かけ設定] の [電話着信転送モード] を選択する。
4. [着信転送設定] ボタンをクリックする。
[着信転送機能の設定] が表示されます。
5. 項目を設定する。(画面は一例です)

[転送 / 通知モード]

利用する転送方法を選択します。

[転送条件]

転送条件を選択します。

「INS なりわけ時に転送する」に設定した場合は、あらかじめ INS なりわけ電話番号を登録しておきます。

「疑似着信転送時に転送する」に設定した場合は、あらかじめ疑似識別着信用の電話帳に疑似識別する電話番号を登録しておきます。

無条件に転送する場合は、「使用しない」を選択します。

[転送設定]

・ i・ナンバーを利用した場合

転送先欄に各 i・ナンバー情報の転送先の電話番号を入力します。

- (ハイフン) は入力しなくてもかまいません。

[転送 / 通知モード] で「電話番号着信通知」を選択した場合は、ここで BIGLOBE の ID も入力してください。

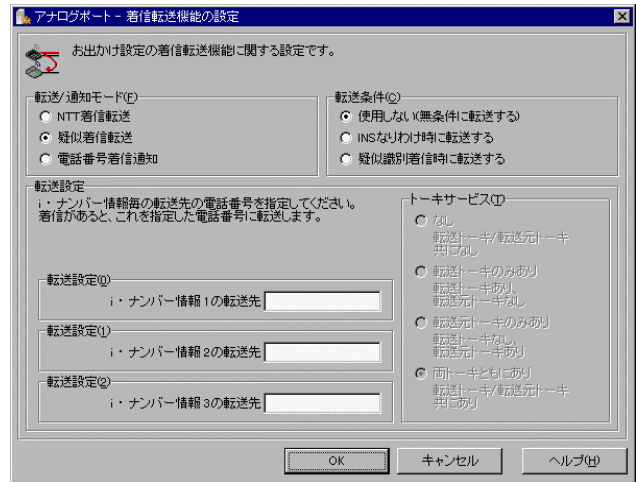
[トーキサービス]

転送トーキと転送先トーキを流すかどうかを選択します。

疑似着信転送をご利用のときは、トーキサービスを利用することはできません。

6. [OK] ボタンをクリックする。

らくらくユーティリティの起動画面に戻ります。



5. 次の機能を使うときには

5.1 INS ボイスワープ

INS ネット 64 の i・ナンバーを使用し、かつ INS ボイスワープも使用する場合には、必ず i・ナンバー情報に契約した電話番号を設定してください。電話番号が設定されていないと、INS ボイスワープが正常に動作しません。

5.2 モデム・ダイヤルイン

INS ネット 64 の i・ナンバーを使用し、かつモデム・ダイヤルインも使用する場合には、必ず i・ナンバー情報に契約した電話番号を設定してください。電話番号が設定されていないと、モデム・ダイヤルインが正常に動作しません。

5.3 着信転送

INS ネット 64 の i・ナンバーを使用し、かつ着信転送も使用する場合には、必ず i・ナンバー情報に契約した電話番号を設定してください。電話番号が設定されていないと、着信転送が正常に動作しません。

また、i・ナンバー情報毎に着信転送先を設定してください。

6. AT コマンドで設定する

i・ナンバーを設定するために必要な AT コマンドの詳細

*PC	i・ナンバー発信用 i・ナンバー情報設定	
機能	i・ナンバー発信用の i・ナンバー情報を設定します。	
書式	AT*PC<パラメータ 1><=パラメータ 2>	
パラメータ	<パラメータ 1>	A、B、C (アナログポート)、N (データポート)
	<パラメータ 2>	1~3 (i・ナンバー情報)
入力例	AT*PCA=1	
補足	初期値は A=1、B=2、C=2、N=1	

*PN	i・ナンバー情報の電話番号	
機能	i・ナンバー情報の電話番号を設定します。	
書式	AT*PN<パラメータ 1><=パラメータ 2>	
パラメータ	<パラメータ 1>	1~3 (i・ナンバー情報)
	<パラメータ 2>	電話番号 (0~9 の数字、10 桁まで)
入力例	AT*PN1=0312345678	

*PR	i・ナンバー着信用 i・ナンバー情報設定	
機能	i・ナンバー着信用の i・ナンバー情報を設定します。	
書式	AT*PR<パラメータ 1><=パラメータ 2><,パラメータ 3><,パラメータ 4>	
パラメータ	<パラメータ 1>	A、B、C (アナログポート)、N (データポート)
	<パラメータ 2> ~ <パラメータ 4>	1~3 (i・ナンバー情報)
入力例	AT*PRA=1,2	
補足	初期値は A=1、B=2、C=2、N=1,2	

*PX1	i・ナンバーの使用設定	
機能	i・ナンバーを使用するかどうかを設定します。	
書式	AT*PX1=<パラメータ 1>	
パラメータ	<パラメータ 1>	0: 使用しない (初期値)
		1: 使用する
入力例	AT*PX1=1	

*P?	i・ナンバーの設定表示	
機能	i・ナンバーに関する設定を表示します。	
書式	AT*P?	
入力例	AT*P?	

7. 高機能 S 点ユニットでホームネットワークを使用する場合について

グループ番号を設定する

本装置に高機能 S 点ユニットを取り付けて、別のターミナルアダプタ（以下、TA と称す）を増設し、ホームネットワークを使用する場合のグループ番号（0～9）の設定について説明します。

i・ナンバーを利用する場合

グループ番号 7 を i・ナンバー情報 1、グループ番号 8 を i・ナンバー情報 2、グループ番号 9 を i・ナンバー情報 3でお使いください。

子 TA がグループ番号 7 で発信すると親 TA は i・ナンバー情報 1 で子 TA へ着信をかけます。

子 TA がグループ番号 8 で発信すると親 TA は i・ナンバー情報 2 で子 TA へ着信をかけます。

子 TA がグループ番号 9 で発信すると親 TA は i・ナンバー情報 3 で子 TA へ着信をかけます。

なお、グループ番号 0～6 で発信すると、着側 TA では全ポートに着信をかけます。

i・ナンバーを利用しない場合

グループ番号 0～7 を契約者回線番号とダイヤルイン番号でお使いください。

〈ご参考〉

- ・高機能 S 点ユニットの取り付け方や使用方法については、高機能 S 点ユニットに添付の『取扱説明書』や CD-ROM の中の『Read Me』をご覧ください。